- ○ アクトネル錠
- ○ ダイドロネル錠
- ○ フォサマック錠
- ○ ベネット錠
- ○ ボナロン（錠・経口ゼリー・点滴静注）
- ○ ボノテオ錠
- ○ リカルボン錠
- ○ ゾメタ点滴静注
- ○ ボンビバ（静注・錠）
- ○ リクラスト点滴静注液
- ○ アレンドロン酸ナトリウム（錠・点滴静注）
- ○ ミノドロン酸錠
- ○ リセドロン酸ナトリウム錠
- ○ ゾレドロン酸点滴静注液
- ○ パミドロン酸二Na点滴静注用
- ○ イバンドロン酸ナトリウム（静注）
- ○ その他

（　　年　　月　　日から　　年　　月　　日まで）ビスホスホネート系薬剤を使用しています

⚠ 歯科・口腔外科の先生方へ

患者さんはビスホスホネート系薬剤の治療を受けているか、治療を受けたことがあります。

- 顎骨壊死・顎骨骨髄炎があらわれることがあるので、抜歯等の侵襲的歯科処置はできるかぎり避けてください。
- 処方の変更や中止の要否を処方医にご相談ください。
- 異常を感じた場合すみやかに受診するようにご説明ください。
- 口腔内を清潔に保つよう、ご指導ください。

GUBISP01PV02
2022年10月改訂

歯科・口腔外科を受診する場合はこのカードをご提示ください

私はビスホスホネート系薬剤による治療を受けています

病院名・薬局名（連絡先）

これからこの薬剤で治療される患者さんへ

- 医師、歯科医師と相談の上、できるかぎり抜歯などの歯科治療は、この薬剤の治療を始める前に済ませてください。

この薬剤で治療中の患者さんへ

- ブラッシングなどで口腔内を清潔に保ってください。
- 定期的な歯科検査を受けてください。
- 抜歯などの治療はできるかぎり避けるようにしてください。

- 下記の症状があらわれた場合は、医師、歯科医師、薬剤師などにご相談ください。

  - **あごの痛み**
  - **歯のゆるみ**
  - **歯ぐきの腫れ** など